令和８年度文京区障害者地域自立支援協議会

第３回こども支援専門部会　次第

日時　令和８年１０月３０日(金)午後２時開始

会場　文京シビックセンター３階　障害者会館会議室Ａ

１　開会

２　議題

⑴　令和８年度第２回こども支援専門部会（研修会）振り返り

【資料第１号】【資料第２号】【資料第３号】【資料第４号】【資料第５号】

⑵　小グループディスカッション

３　その他

【参考資料】

・令和８年度　文京区障害者地域自立支援協議会こども支援専門部会員名簿

【資料第１号】

令和８年度
こども支援専門部会研修会振り返り

文京区障害児支援ネットワーク
文京区障害福祉課

「インクルーシブ教育を支える多職種連携を考える

～学校と放課後等デイサービスの協働実践を手がかりに、こどもの発達保障のあり方を探る～」

（1）放課後等デイサービスの実際について

（2）学校と放課後等デイサービスが連携した実践報告

（3）小グループディスカッション

（4）パネルディスカッション

＜参加者＞

教育関係者（区立小中学校教諭、管理職、特別支援学校教諭等）20名
教育センター（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）7名
福祉事業所（区内放課後等デイサービス、児童発達支援、相談支援事業所等）28名
医療関係（医師、看護師、ソーシャルワーカー等）5名
委員　15名
その他（行政等）5名
総合計　80 名

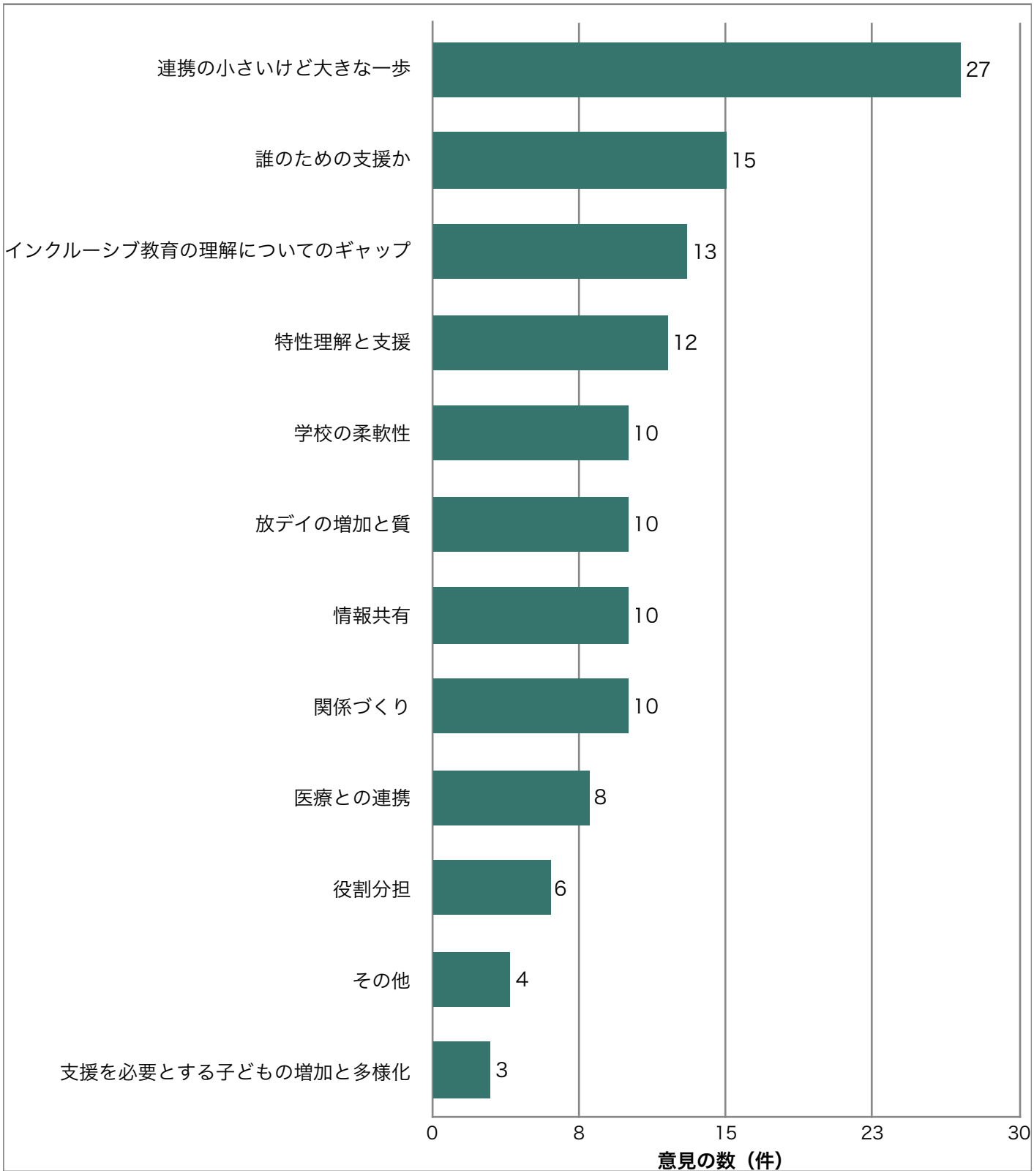
アンケート集計

1. 放課後等デイサービスの紹介については、今後の業務の参考（関連知識の幅が広がったなど）となりましたか？
   - **参考になった82%、やや参考になった18%**
2. グループワークについては、今後の業務の参考（関連知識の幅が広がったなど）となりましたか？
   - **参考になった85%、やや参考になった15%**
3. 時間配分は適切でしたか？
   - **適切だった62%、やや適切だった32%、**
     あまり適切ではなかった3%、適切ではなかった3%
4. 次回を開催した場合、参加したいと思いますか？
   - **また参加したい94%、どちらともいえない6%**

グループディスカッション意見まとめ

① 感じたこと

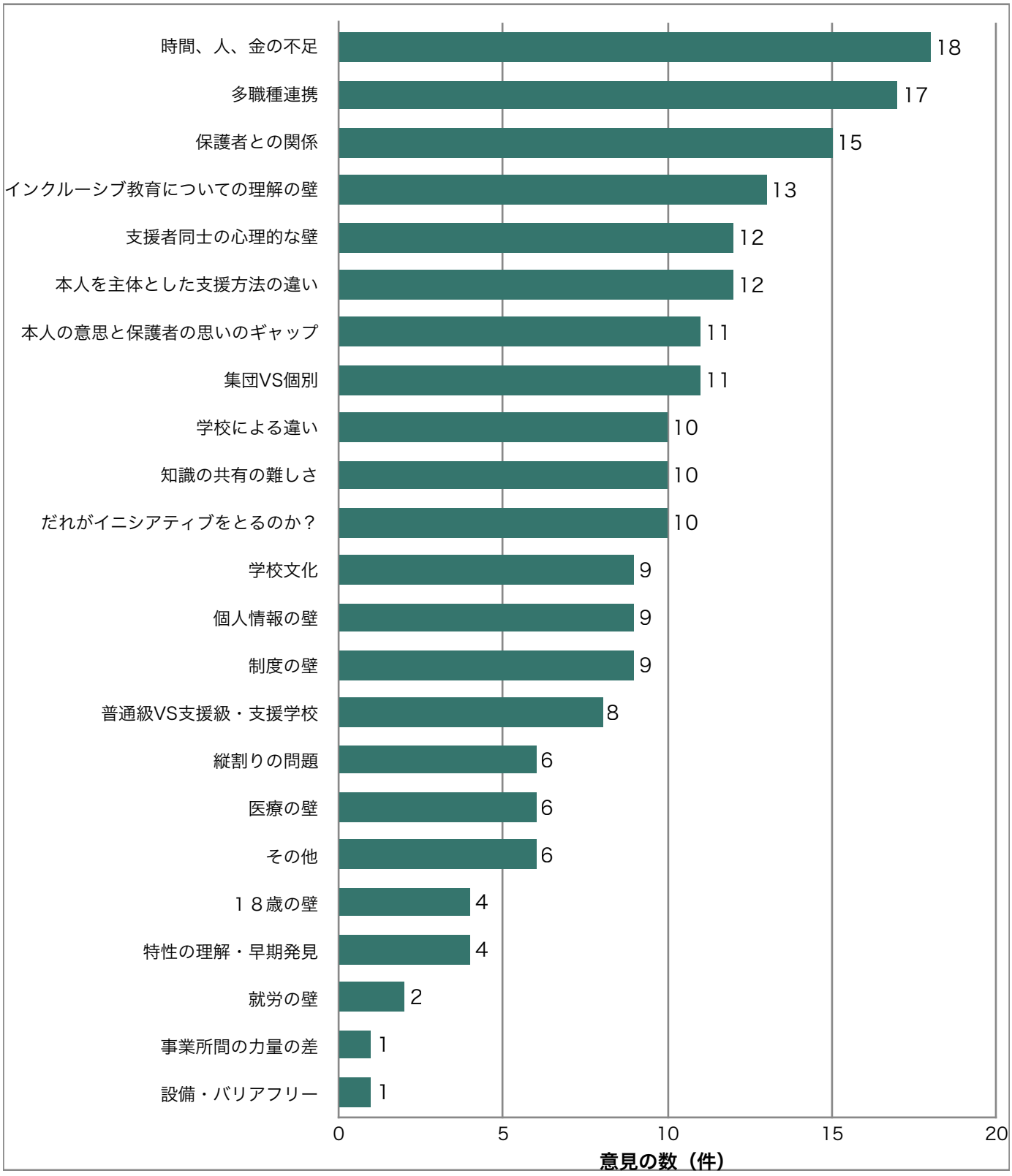
8月3日 勉強会　分類別の意見数　合計 128件



※件数は意見の記録単位。

② 壁

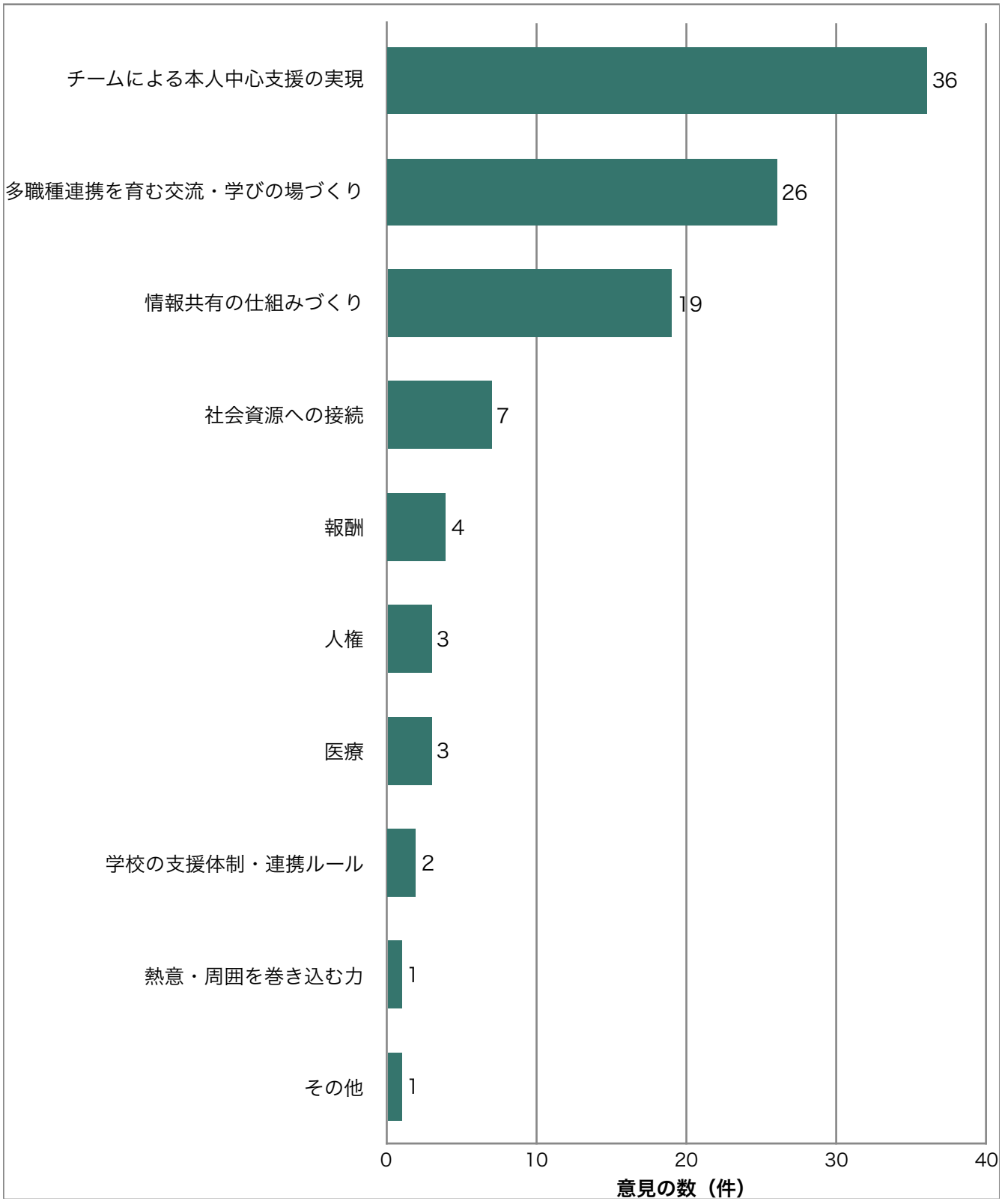
8月3日 勉強会　分類別の意見数　合計 204件



※件数は意見の記録単位。

③ どうやって壁をのぼる

8月3日 勉強会　分類別の意見数　合計 102件



※件数は意見の記録単位。

グループディスカッション意見まとめ　【資料第3号】

原文・小項目を保持　括弧内の班名と記録番号は照合用

番号　意見（班名・記録番号）

① 感じたこと　128件

連携の小さいけど大きな一歩（27件）

1 普通級に入りこむ（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録087）
2 放デイの職員が一人の児童に一年関われた事（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録088）
3 学校と事業所と連携できることを知れたこと（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録091）
4 学校訪問 → 福祉と教育の連携だ！（４班／記録126）
5 多職種連携の難しさ。（４班／記録127）
6 学校、福祉、医療で連携する体制が整っていない（４班／記録128）
7 連携することの大切さを改めて理解した（４班／記録132）
8 学校の授業が終ってからのデイサービスかと思っていた（５班／記録155）
9 巡回相談の時にカリタスさんが普段の時に入っているのを知りビックリしました（６班／記録178）
10 実際に放デイの方が教室に入って支援を行っているということ。（６班／記録180）
11 学校に入っていいんだ!!［模造紙への記入］（６班／記録181）
12 ① 放課後デイって学校とこんなに連携とれるんだ!!（７班／記録221）
13 連携［模造紙への記入］（８班／記録268）
14 学校との連携の大切さ 有効さ（８班／記録269）
15 学校と放デイの連携実践があるんだ（８班／記録270）
16 感じたこと 事業所外の人が学校に入って支援できる →［判読不能］（８班／記録271）
17 連携のスタートはどこから？（８班／記録278）
18 教員の加配ではなく放デイの学び支援の取組がすすんでいることにびっくりしました。広がれば良いと思います。（９班／記録319）
19 放デイで学校に入って支援ができる（10班／記録336）
20 学校にも「家族支援加算」という形で支援に入ることができることを知りすごく可能性の広がる方法だと感じました。［挿入記入：インクルーシブ教育において］（10班／記録339）
21 感 支援 重なって本人と関わっている（11班／記録367）
22 学校の中で、教員と連携を取りながら支援を行った。そのことが大きな進歩（11班／記録374）
23 連携が大切（本人が望んでいる支援に近づける）（11班／記録376）
24 学校内に入って直接支援している（12班／記録399）
25 学校とデイとの連携で支援の方向性が定まってるところが良いと思った。（12班／記録401）
26 家族支援加算 そこまで広がっていない。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録053）
27 家族支援 連携加算が学校に［判読不能］か。—OK（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録092）

誰のための支援か（15件）

28 本人主体の支援（１班／記録010）
29 だれのための支援（１班／記録011）
30 誰のための支援かが立場によって異なってくる（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録051）
31 軸は ご本人（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録052）
32 それぞれの意向はありながら お子さんを中心に考えている方たちの関わりで円滑にすすんだ（６班／記録186）
33 子ども保護者の描く夢は否定しない（６班／記録193）
34 目的を明確にする（６班／記録194）
35 本人への支援［模造紙への記入］（８班／記録274）
36 感じたこと 支援者の話ではわかったけど本人はどうしてほしかった？ 声は常にどう参加したの？［２文目要確認］（８班／記録275）
37 “本人中心”がすてき（８班／記録276）
38 子どもの思いと保護者の思いのすれ違い、ギャップ（８班／記録284）
39 「誰」のための支援なのか？（９班／記録315）
40 宮田さんの［取り消し線］以外に児童の様子を見ること、本人が授業を受けて学びに来てるのに、本当にその支援が本人のための指導になっているかを今度考えようと思いました。［冒頭一部要確認］（10班／記録338）
41 「感じたこと」自分の弱みを強みとしてセルフフォローできるように支援していくことが大事。困り感を無くすではなく、生きやすくするための学校と学ぶ場所だと改めて実感しました。（10班／記録340）

番号　意見（班名・記録番号）

42 感（何のために支援をしているのか？）最終的に本人の利益につながればよいのでは（11班／記録372）

インクルーシブ教育の理解についてのギャップ（13件）

43 教育現場の分類が多い（１班／記録007）
44 クラスが多い（１班／記録008）
45 分類が多い（１班／記録009）
46 一緒にいる（通常級にいて、同じ内容を聞く？その場にいる？）こととの学びについて。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録056）
47 必ずしも インクルーシブが良いとも ［取り消し線・判読不能］限らない 個別の配慮が必要なときもある。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録057）
48 「インクルーシブ」人員が必要 専門的知識 経験 必要（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録058）
49 インクルーシブ［模造紙への記入］（８班／記録262）
50 インクルーシブ教育に対する考え方が施設によって異なる（８班／記録263）
51 インクルーシブ教育に対する考え方が個人によって受けとり方が異っている（８班／記録264）
52 「インクルーシブ」という考え方が社会の中で浸透している訳ではない。（８班／記録265）
53 インクルーシブ教育について知ってるか知らないかで全く対応が違う（８班／記録266）
54 支援の方向性をそろえる？ インクルーシブ（８班／記録273）
55 思うこと① ・インクルーシブ教育の推進は必要だと思うけれど、現場の体制作り強化（主に人手など）もあわせて必要だと思う（11班／記録373）

特性理解と支援（12件）

56 印象に残ったこととして、実践報告の、校外学習①と②の変化（１班／記録001）
57 「あぶなかったからやめる」ではない（１班／記録002）
58 見通しを立てることで心は安定させること（我々）学習場面では？（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録050）
59 視覚支援や本人の興味をひく提案があったこと（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録089）
60 ① 持続可能な支援か？ とてもうまくいった例（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録090）
61 富坂さん スッパイ顔！ 経験って大切！（４班／記録129）
62 児童に直接支援する人、方法 色々考えられる（８班／記録277）
63 本人の変化（９班／記録312）
64 特性は就労に大きく関係してくる。（９班／記録314）
65 ケースバイケースの対応（９班／記録318）
66 放デイさんで実際に行われている支援を見ることができて良かった！ → ひとりひとりにコミット！（11班／記録371）
67 印象に残ったこと 何か少しでも成長があったときの感動（11班／記録375）

学校の柔軟性（10件）

68 受け入れる懐の大きさ（教育機関）（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録054）
69 実践報告 普通級の方でも学校連携が前向きに捉えられていて学校側の協力体制にあると感じた。（４班／記録133）
70 印象に残ったこと。学校がそこまでopenに受け入れてくれたのすごい!!（５班／記録156）
71 放課後等デイサービスが学校に受け入れられていることがステキだと思いました。（５班／記録159）
72 感じた事 先生や学校の理解もあり自由度が高く良い支援だったのでびっくり!!（５班／記録160）
73 担任もカリタスさんの支援を他の科目で自身の授業に取り入れたのでは。（６班／記録189）
74 学校の受け入れが良い（８班／記録272）
75 この学校、この先生だからこそ、ここまで本人に寄り添った支援ができたのではないか…（９班／記録313）
76 学校の先生と上手に連携がとれている（学校が協力的）（10班／記録337）
77 ○ 学校の受け入れ（10班／記録341）

放デイの増加と質（10件）

78 発達支援の事業所が数・バリエーションとも多くなっていること。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録048）
79 学校に通っている間（年令）では、サポートが豊富（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録049）
80 デイサービスの実践事例を知る事ができて興味深かった。より多くの事が求められてしまっている実態がある。現実（５班／記録157）

番号　意見（班名・記録番号）

81 放デイごとに特色や強みがあるということ。（６班／記録179）
82 こんなに放デイがあるということを知らなかった！（７班／記録222）
83 文京区すごい 充実してるー!!（７班／記録223）
84 利用者も増え！現場も大変…（７班／記録224）
85 この５年余で放デイの数が約３倍にも増えていることに驚いた。（11班／記録370）
86 デイサービスとしての支援はどこまで可能なのか知りたい。（11班／記録369）
87 自信のある支援（事業所さん）（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録060）

情報共有（10件）

88 スプレッドシートでの共有（１班／記録012）
89 「情報共有」密に行ったことで、子どもの成長につながった（４班／記録131）
90 児発や放デイの様子を写真や動画で観て活動の一部をイメージできた（４班／記録134）
91 連携して複数の目で多面的に見ると子ども像が立体的に描ける（６班／記録190）
92 会議から支援開始までがスピーディー。　・連絡メモ、報告書の共有が良かった。（７班／記録225）
93 フォローが手厚い スプレッドシート 会ぎの結果 フィードバック…（９班／記録311）
94 本人像の共有が大事 どんな人なのか（性格・行動的特徴）etc.（12班／記録400）
95 情報共有の方法（Googleフォームなど）引き継ぎに多くの人が係わる（12班／記録402）
96 放デイや学びなど他機関との支援会議の頻度が高く、本人、家族のニーズに合わせていけそう（９班／記録310）
97 発信［模造紙への記入］（８班／記録279）

関係づくり（10件）

98 コミュニケーション大事（５班／記録158）
99 関係者が上手につながった 気持ちを共有できた（６班／記録185）
100 丁寧な関係作りの努力（６班／記録188）
101 関係作りは大切！［模造紙への記入］（６班／記録191）
102 それぞれの立場を知る機会が必要（９班／記録316）
103 それぞれの立場からの意見や考え方を否定せず一旦受け入れる（９班／記録317）
104 保・学・放デイの連携・折り合いのつけ方に熱意あり（10班／記録335）
105 ○ 連携・熱意（家庭、学校、放デイ）（10班／記録342）
106 連携出来る勇気（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録059）
107 出向ける熱量（人員・時間をさけるか）事業所さん（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録061）

医療との連携（8件）

108 投薬により 周りより自分で出来た～ことを悟る。投薬は素晴らしい？（１班／記録005）
109 薬 どうする？［「薬」に丸］（１班／記録006）
110 服薬は何のため？（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録055）
111 薬を併用（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録086）
112 医療は…？［模造紙への記入］（６班／記録182）
113 主治医の関わり方（６班／記録183）
114 内服の決定はどのようなことからなされたのか？（６班／記録184）
115 感じたこと 就学準備をさせるために薬をのませることに葛藤を感じます（８班／記録283）

役割分担（6件）

116 それぞれの職種の役割分担 → 支援する時の限定 次どこがとりまとめる？［「役割分担」は要確認］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録085）
117 それぞれの立場で「できること」をやる大切さ。（４班／記録130）
118 連携を進められる（受け入れられる）キーパーソンの重要性［「キーパーソン」に色線］（６班／記録187）
119 家族支援加算での訪問と保育所等訪問支援の役割分担は？（８班／記録280）
120 保護者の意向が大きいときに、訪問時 連携する時間の調整 行き［判読不能］ ファシリテーターできる［一部判読不能］（８班／記録281）
121 事例報告にあった支援について、学校では（通常の学校）支援員や介助員といわれる方々が担っているのかと思っていた。（11班／記録368）

その他（4件）

122 これ本当にいいの？［模造紙への記入］（１班／記録013）

番号　意見（班名・記録番号）

123 家庭［模造紙への記入］（８班／記録282）
124 できる限りのことはしたいという気もちのみ！（６班／記録192）
125 自分で限界を決めなければなんとかなるかも…（６班／記録195）

支援を必要とする子どもの増加と多様化（3件）

126 “インクルーシブ教育”の流れの中で、対象になる子どもたちがふえているという実感がある。（１班／記録003）
127 グレーゾーン　多［「多」に丸］（１班／記録004）
128 支援を必要とする児、生、幼が増えている（８班／記録267）

② 壁　204件

時間、人、金の不足（18件）

129 壁 じっくり話す機会がない［「壁」に丸］（１班／記録017）
130 福祉のことばかりではない（時間的に）（１班／記録018）
131 いそがしい（１班／記録028）
132 集まって話す時間が合わない（１班／記録030）
133 通常業務に、追われて1人1人丁寧に連携する余裕がない（４班／記録145）
134 領域同士の連けいが非常に重要であるにも関らず、業務時間内にその時間がみこまれていない（６班／記録204）
135 ・現状として２つ所の事業所が保育所等訪問をしている → フィードバックの時間 ゆらいでしまう個人の視点（６班／記録211）
136 （多職種連携）個人情報の保護／業務の広がりに比べた人員不足／報酬体系（７班／記録230）
137 やればやるほど → 無報酬に…。［模造紙への記入］（７班／記録231）
138 ③ 先生はいそがしい。SSWとかも少ないって聞く。→先生方と福祉機関がつながれる機会があまりない？（７班／記録241）
139 ② インクルーシブ教育をするための専門職って足りてる？（７班／記録242）
140 連携する時間 時間帯 副校長にtel［模造紙への記入］（８班／記録291）
141 支援級の先生も足りていない（10班／記録346）
142 それぞれの立場、［判読不能］ 活用できる時間のちがい。（10班／記録352）
143 人手不足（学校）（教員・支援員・NS）etc 壁（11班／記録384）
144 人的資源の難しさ、１人にずっと対して支援できる時間は限られている。（12班／記録409）
145 保健分野 人員不足（時間がない）（12班／記録410）
146 異動や時期的な忙しさなど…（12班／記録411）

多職種連携（17件）

147 多職種連携のかべ［模造紙への記入］（１班／記録019）
148 多職種で連携　・異なる施設、職場のちがい　・視点のちがい（１班／記録020）
149 多職種連携［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録062）
150 チーム対応!!（６班／記録197）
151 教育 ↔ 医療 ↔ 福祉［３者間の矢印］専門分野の異なる者同士、一緒の研究の必要性（６班／記録199）
152 支援チームが大きくなるほど共有、意思整理が困難となる（６班／記録200）
153 連携と分担が大切 ↓ 守るべき部分もある。［模造紙への記入］（６班／記録205）
154 連携するべき!! だが、どうやってつながる…？（７班／記録243）
155 事業所間連携の密さ 支援員さんだよりの部分あり（８班／記録294）
156 多くの専門家で支援の輪が必要（８班／記録297）
157 センターが関わるタイミング。（９班／記録320）
158 調整・やりとり（９班／記録329）
159 保育所等訪問支援と家族支援でどう連携とる？（10班／記録348）
160 多職種連携はどうやってしていく？（10班／記録356）
161 ○ 連携の進め方（10班／記録357）
162 学校からつながる方法（12班／記録427）
163 支援会議 小さい頃から課題が共有されているケースはスムーズ（12班／記録422）

保護者との関係（15件）

164 学校と放デイとの連携について、保護者への周知の徹底のばらつき（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録065）

番号　意見（班名・記録番号）

165 保護者対応［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録078）

166 母の思いと学校の思いが少しズレたときの対応。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録079）

167 SOSを出せた 課題を感じた保護者（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録080）

168 家庭や出会った機関・関係者に左右される → ヘルプに気がつけるかどうか？（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録095）

169 保ゴ者としては「問題」と思うことも学校と相談するには…とどうしても大きな問題でないと身構えてしまう。（連携実績がないことより）（４班／記録144）

170 保護者の許可が必要（４班／記録147）

171 保護者次第［模造紙への記入］（８班／記録286）

172 ひとり、あるいは家族でかかえこまない　・受援力　・知ってもらう（９班／記録322）

173 取りかかる際に保護者・子どものきっかけが（希望）必要（11班／記録385）

174 保護者への働き掛け（①多忙な親 ②発信する親）（12班／記録404）

175 放課後デイの使い方 習い事か放デイかという基準（12班／記録413）

176 学校からの発信の難しさ → 家庭に入ること難 → 支援学級の親の方が受け入れてくれやすい（12班／記録415）

177 子のことと同等に自分の自己実現に（親）力を入れている家庭 → 子のためのサービス選択でなく生活のためにどう使うか？（12班／記録423）

178 どこまで関わって良いのか。保護者や子どもが現状で満足している場合、支援側が決めても良いのか。（11班／記録386）

インクルーシブ教育についての理解の壁（13件）

179 インクルーシブ教育についての理解のかべ［模造紙への記入］（１班／記録014）

180 インクルーシブ教育がうたわれて時間がずい分たつけれど、明確に変わったというふうに思えない（１班／記録015）

181 （実）保育者以外にどのくらい興味をもっているのか。（１班／記録016）

182 障がいの有無に関わらず…［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録068）

183 社会にある壁をどう教えていくのか（社会がインクルーシブでない）（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録076）

184 インクルーシブ教育が学校でどこまで受け入れられるのか。（４班／記録141）

185 中学生は周囲との違いに敏感になる時期。他の人と違う、支援を受けることへの抵抗感（６班／記録208）

186 （インクルーシブ教育）子供の時の障害者理解（７班／記録245）

187 低学年のうちは受け入れてくれるが高学年になるにつれて理解が難しくなる 小さいうちの交流が大切［模造紙への記入］（７班／記録246）

188 障害者への理解が進まない。（前進してはが）［括弧内要確認］（８班／記録285）

189 ○ 特別支援への理解（10班／記録360）

190 インクルーシブ教育の基盤 △（11班／記録378）

191 ・インクルーシブ教育という名詞が一人歩きしているような…（12班／記録408）

支援者同士の心理的な壁（12件）

192 福祉 と 教育 の心理的なカベ（１班／記録024）

193 心理的なカベ（１班／記録026）

194 「壁」見えない いらない プライド（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録081）

195 チーム内の温度差があるときは…？（７班／記録234）

196 違う立場であるからこその異なる意見や対応（９班／記録325）

197 保・学・放デイ 自分側の主張が強すぎる。（10班／記録343）

198 学校支援の提案 学校が後まわしになっていないか？（10班／記録344）

199 壁 重なっている 相手の負担にならないか（11班／記録377）

200 壁・思いこみ？ 職種によって業務内容を自分の方で限定してしまっているのかも…。（11班／記録381）

201 教育と福祉の価値観の違い［「心理」を挿入］→ 信じているものが違う。（11班／記録382）

202 多職種連携 大きな問題にならないと相談しづらいのか。（12班／記録406）

203 気楽さがほしい。（９班／記録330）

本人を主体とした支援方法の違い（12件）

204 重点をどこに置いているか（１班／記録029）

205 児童主体の壁。［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録071）

206 直接支援？（本人）［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録104）

番号　意見（班名・記録番号）

207 間接支援？（観察、助言）［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録105）
208 自己決定支援［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録106）
209 自立支援？［模造紙への記入・②③の境界付近］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録108）
210 ご本人や家族が何を問題にしているのか… 不明であると、支援の方向が定まらない（５班／記録168）
211 こども本人を中心に置いて考える。（９班／記録324）
212 支援の重心をどこに置くかの難しさ。（10班／記録349）
213 何を、いつまで どこまでやる？ 目標設定？（10班／記録351）
214 ○ 共通の目標設定（10班／記録361）
215 目的の焦点化 図れていない（12班／記録416）

本人の意思と保護者の思いのギャップ（11件）

216 児童の気持ちをどう聞き出すか。学び方、学ぶ内容について、本人の希望と保護者のニーズのすりあわせ。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録072）
217 本人の困り感と周囲から見える困り感が違う（４班／記録138）
218 本人の希望・周囲の願望 どっちが優先？（４班／記録139）
219 本人の希望、想い／親の希望 想い／学校（先生）の想い ３つ見ないといけない（６班／記録196）
220 本人 家族 学校 色々な思いをふまえながらの支援（７班／記録226）
221 親の意見と支援者として大切なことが合わない時。（７班／記録227）
222 ① 子ども、親、学校 それぞれの意向を知れるって大事（７班／記録228）
223 本人の意思とそぐわない時がある［模造紙への記入］（７班／記録229）
224 保護者の思いと子供の実態の差 我々としては適切な支援環境での教育を一緒に考えていきたいがなかなか理解が得られない 親の理解（11班／記録380）
225 意思決定（支援者・本人・家族の想い）（12班／記録418）
226 誰を主体としたサポートに重きをおくのか（ご本人？ 家族？）（12班／記録417）

集団VS個別（11件）

227 インクルーシブ教育では 他の児童・生徒の立場や権利も守る必要がある（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録069）
228 個々の発達の違いの中での活動の進め方、活動内容の難しさ。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録070）
229 小人数で行う方が良い人や、同じ学年や年齢でも特性による差が生まれてしまうため、1から環境を変えることは難しい。［「1」に「すべての学校」の追記］（４班／記録142）
230 〈インクルーシブ教育について〉すべての人が同じ空間で同じ内容のことをするのは難しいと思う（４班／記録143）
231 壁 教育現場の基本的な管理的集団としての特性。多人数集団としての限界（５班／記録162）
232 インクルーシブ教育について「排除されない権利」と「一人ひとりに合った教育」のバランスが難しい（５班／記録163）
233 逆に自由度が高い分 選択肢も多く、大変だったのではないか？［「かべ」の追記］（５班／記録164）
234 学校の先生との共通認識をもつ 1人1人に合わせることと全体をみること（７班／記録232）
235 その人に合った“インクルーシブ”が違う？ 合理的配慮（10班／記録347）
236 子どもの知能レベル・学力などの違い。 壁（11班／記録383）
237 集団の中で１人を支援する難しさ。（本人と集団の関係を特別にしない）（12班／記録405）

学校による違い（10件）

238 ② 担任や学級経営によるのも… もし人が変わったらムリ？（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録098）
239 校長や先生の転入出（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録103）
240 担任の交代、人事異動による支援体制の流動性（６班／記録198）
241 教員の受け入れ 体制は…？［模造紙への記入・取り消し字あり］（７班／記録235）
242 学校［模造紙への記入］（８班／記録287）
243 受け入れ度合いが学校による（８班／記録288）
244 学校 保護者の希望次第 学校内で何とかしようとする → 外部に（８班／記録289）
245 学校によって受け入れ↓もある（８班／記録290）
246 学校の受け入れ（10班／記録350）
247 特支以外の学校との連携（11班／記録390）

番号	意見（班名・記録番号）
知識の共有の難しさ（10件）	
248	多職種との連絡手段が限られ、［取り消し線・判読不能］コミュニケーションが不足しがち。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録063）
249	児童の困り感がどこにあるのかの共有をしないと二次障害につながる（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録073）
250	デイ、相談支援事業所など家庭と関わる機関の内情を知らない。（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録093）
251	様々な専門家が色々な角度からアセスメントをする難しさがある。（５班／記録161）
252	領域毎の専門性が高く、前提・知識の共有がむずかしい（６班／記録202）
253	それぞれの領域の専門性が高く、他領域から意図がみえにくい（６班／記録203）
254	分野が異なると視点や用語が異なる（理解し合う機会）（12班／記録420）
255	相談支援として、福祉サービスの利用の情報は入ってくるが、各学校の支援級の特質などはどうしても保ゴ者の口コミ頼りの情報収集となりやすい。（４班／記録146）
256	壁 地域の資源がよくわかってない。情報が１か所にまとまってない。情報という壁。（８班／記録298）
257	情報共有のタイミング（９班／記録327）
だれがイニシアティブをとるのか？（10件）	
258	誰がどう埋めていくのか（１班／記録021）
259	誰が問題提起をするか。（口火をきる人が必要）会議を持つことが難しい（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録064）
260	文京区はセルフプランが多く、計画をまとめる相談支援専門員がいない子がいる。（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録101）
261	① 連携にあたり主となって動くのは今回は放デイでしたが 学校の受け入れにもよる？（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録102）
262	「連携」は大切だけど、「誰が」「どこまで」やるか あいまいになる…？（４班／記録140）
263	壁 関係者の共通理解の難しさ 誰が主となり主導するか（11班／記録379）
264	課題を共有する機会 イニシアティブをどこがとる？（12班／記録403）
265	各機関でできることとできないことがある（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録094）
266	保育所等訪問との支援の住みわけはどんなふうだったのか（７班／記録237）
267	放デイ関係者が、どこまで、やっていい…？（８班／記録295）
学校文化（9件）	
268	学校現場に福祉的視点がどこまで理解されるのか。（４班／記録135）
269	学校ではどの立場の人がどんな支援ができるのか把握できていない。（６班／記録206）
270	抱えこんでしまう体質。（６班／記録207）
271	学校文化の壁 ～できないを探す？ ～できることを探す？（６班／記録210）
272	学校独特の文化。［模造紙への記入］（６班／記録212）
273	・「枠」「システム」にあてはめなくてはいけないと感じる 教育・指導環境（９班／記録323）
274	学校というフィールドの特殊性。→ 先生方の負担が大きい。求められているものに、応えられるのだろうか…？（学校が考える［判読不能］とは？）（11班／記録387）
275	教育の現場に他職種が入ることはハードルが高いのでは…？（12班／記録407）
276	学校の先生からはどう感じられたのかな。（７班／記録240）
個人情報の壁（9件）	
277	個人情報のかべ［模造紙への記入］（１班／記録031）
278	クラウドでのデータ共有が可能かどうか（１班／記録032）
279	セキュリティをどうする？（１班／記録034）
280	個人情報［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録082）
281	他子どもの個人情報（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録099）
282	個人情報共有のカベ それぞれのベクトルのずれ（５班／記録169）
283	個人情報保護のため外部の人が入ることへの抵抗感がある？（６班／記録209）
284	個人情報の壁（９班／記録328）
285	個人情報の問題 入りづらい園もある（12班／記録425）
制度の壁（9件）	
286	福祉 教育 医療と 制度が難しい（１班／記録022）
287	ルールのかべ（１班／記録027）

番号	意見（班名・記録番号）
288	制度 バリアフリーパートナー［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録077）
289	保育所等訪問支援↳どういう制度か教えて頂きたいです 月2回くらい（７班／記録236）
290	制度が分からない。知られていない！［模造紙への記入］（７班／記録238）
291	P2「家族支援加算を利用した学校支援」とはどこの放デイでも提供頂けるサービスなのでしょうか。教えて頂きたいです。月4回（７班／記録239）
292	壁 資源に利用条件がある事 知らない事がある。仕方ないけど、壁ではある。（８班／記録299）
293	制度上の壁。（10班／記録353）
294	○ サービスの理解（10班／記録358）
普通級VS支援級・支援学校（8件）	
295	付属中に入学希望 入試（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録096）
296	公立と、専門［下線・囲み］（私立）学校 専門［末尾の字形要確認］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録097）
297	すべての学校に支援級、学びの教室がないこと↓子供達の就学先を決める時にたいへんな思いをしているのを見ているので（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録100）
298	壁 支援級ではなく、普通級にという方針の学校 保ゴ者と私が一人ひとりに合った教育という充実さを学校に入れて…［末尾要確認］（５班／記録167）
299	支援級を必要とする子供は多い。しかし、支援学級が足りていない（10班／記録345）
300	私の周りには学校から呼びだされ「支援級や特別支援学校に行って下さい」と言われたという話があり、普通級を希望したけど難しかった［挿入：本人が］という話を聞くからです。先生方も忙しいから手が回らないだけだとは思いますがしくみから考えるが必要では 学校だけにまかせるのではなく［挿入箇所のつながり要確認］（10班／記録354）
301	障がいがある＝支援級、特別支援学校となるのではなく本人にとってどの環境が適切なのか検討した上で普通級を選択される場合は、チームで支援できるような環境がととのうとすごく素敵だと思っています。（10班／記録355）
302	○ 学びの場をどう選ぶか（10班／記録359）
縦割りの問題（6件）	
303	この分野はここ と分けすぎ？ それ 連ケイが難しい（１班／記録023）
304	年齢、障害別、等に（子ども？大人？老人？）連携するムズカシサ（４班／記録136）
305	そもそも行政の窓口がバラバラ（４班／記録137）
306	各専門分野ごとのルールの違い（６班／記録201）
307	たてわり、組織の違い、文化の違い、スキルの差、人手が足りない、など状況やケースに応じて役割を考える必要がある？縄わばり。（７班／記録233）
308	業務範囲 対象の違い（12班／記録419）
医療の壁（6件）	
309	医療、とのかべが一番高い！（１班／記録025）
310	学校では「診断」ができない。服薬の調整、服薬自体について、医療保護者とどう連携しているのか。（学校で病状を伝えることはできるか？）（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録066）
311	医ケア児・者の受入れ先。（７班／記録244）
312	壁 医療はあまりチームに入れてもらってないかも。医療に行くことそのものが壁かも。（８班／記録292）
313	病院（医療）はどのように関わっていけるか（放デイに通っているとはよく聞くが…）（９班／記録321）
314	医療につながっていない家庭も多い。（12班／記録426）
その他（6件）	
315	でも、できたらすごい［模造紙への記入］（１班／記録033）
316	支援者 支援［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録067）
317	事業所［模造紙への記入］（８班／記録293）
318	理想と現実のギャップ。（12班／記録412）
319	価置感［「価値観」とは訂正せず、読み取れた字形を記載。要確認］（12班／記録421）
320	85%は保育園（12班／記録424）
１８歳の壁（4件）	
321	制度や管轄が変わることで連続性が途切れてしまう（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録074）
322	高校を卒業したところで支援も卒業なのか（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録075）
323	生涯支援？［模造紙への記入・②③の境界付近］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録107）

番号　意見（班名・記録番号）

324 18才の壁（11班／記録391）

特性の理解・早期発見（4件）

325 障害がどこにあるのかわからない中で、どのように接したら良いのかわからない（５班／記録165）

326 壁 クラスで 人付き合いに躊きがある子。てんかんと決まってしまう。今思えば、知的／ASD傾向がある子だったかも。（５班／記録166）

327 こども本人 置かれた環境 親・家族 は千差万別！（９班／記録326）

328 日頃の様子のモニタリングができれば早期発見（12班／記録414）

就労の壁（2件）

329 “就労”について。学校での情報は足りているのか？（11班／記録388）

330 就労支援の機関に学校が求めていることって？（11班／記録389）

事業所間の力量の差（1件）

331 事業所間の力量の差（８班／記録296）

設備・バリアフリー（1件）

332 小・中学校 エレベーターがないとむずかしい → 設備が整うことが必要［模造紙への記入］（７班／記録247）

③ どうやって壁をのぼる　102件

チームによる本人中心支援の実現（36件）

333 子どもの姿をしっかりと見る。↓子どものニーズに合った支援方法を考えることができる。［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録084）

334 自己決定支援 親の希望？（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録109）

335 支援の重心をどこに置くか（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録111）

336 一人一人の能力に応じた教育は可能か。（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録112）

337 直接支援？（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録113）

338 本人主体という考え方（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録118）

339 子どもの意志をどうやって確かめるか。（他の子との関係）（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録121）

340 保護者、お子さん、先生、それぞれの考えを1つ1つ丁寧に聞く（４班／記録151）

341 本質的な問題 捉えられてる？［模造紙への記入］（５班／記録174）

342 障害のあるこたちが主張できる機会づくり（７班／記録259）

343 親も子も、主張できる機会をつくりたい。意見をくめるような環境をつくりたい。［模造紙への記入］（７班／記録260）

344 子供のために、学・放デイ・保ご者が寄りそう、折り合う（10班／記録362）

345 ○ 本人の自己肯定感（10班／記録366）

346 支援の中心に子どもを置く。→ 主語を「子ども」に！（11班／記録394）

347 学校・放デイの連携　・子供の実態 多面的に共有　・具体の手立て（10班／記録364）

348 仕切りはだれ？（１班／記録039）

349 役割分担（１班／記録040）

350 「役割分担」とすき間（１班／記録041）

351 お互いを理解すると役割分担しやすい（１班／記録042）

352 「とりまとめる」人 いないの？（１班／記録043）

353 ③ 動ける人が動くしかない？ 学校内にコーディネーターを専科や学担でなく専門につくる（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録119）

354 まとめ 学校全体（担任だけだと大変）支援の要（キーパーソン）［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録125）

355 支援者を支援する人 上手なパス回し［模造紙への記入］（６班／記録218）

356 学校—つなぐ役割—放デイ［付箋上の図］（７班／記録252）

357 ファシリテーターを決める［模造紙への記入］（８班／記録308）

358 協力関係。（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録117）

359 先生の困り感に沿った協力関係（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録120）

360 1人の方に何人もの専門家がかかわる必要（５班／記録171）

361 それぞれがそれぞれの立場や専門性を認め合う。　・子どもファーストに考える。（５班／記録176）

362 それぞれの専門性に自信をもつ［模造紙への記入］（６班／記録213）

363 多職種連携は互いに補い合いチーム力がものを言う。（６班／記録219）

番号　意見（班名・記録番号）

364 学校と放デイのウィンーウィンの関係こそが子供のためになる。（10班／記録363）
365 一緒に考えていく力 対立ではなく一緒に育てていくこと。（子供も大人も）（11班／記録393）
366 支援会議を価値あるものとっ共通認識にすること（６班／記録220）
367 ○ 家族だけでかかえこまない（９班／記録331）
368 学校内で、体制はとれるか。（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録114）

多職種連携を育む交流・学びの場づくり（26件）

369 各分野を理解する努力（６班／記録214）
370 違いの受け入れ（６班／記録215）
371 分野を越えた関わり（多職種連携）（８班／記録304）
372 職種をこえて集まる場に参加する（１班／記録037）
373 研修、交流会、に参加（１班／記録038）
374 学校 ↔ 福祉サービス 事ぎょうなど 公開会などでリアルな様子を共有し、知っていく。（４班／記録149）
375 今日みたいな多職種の交流（４班／記録150）
376 地域の方との連携が上手くできるように、交流できる場を増やす（４班／記録152）
377 相互理解がまずは必要 研修、交流会（７班／記録250）
378 情報共有 → このような集合研修を多く実施。（７班／記録251）
379 多職種がお互いのことを知る機会をつくる。（11班／記録396）
380 （インクルーシブ教育）子供、学校への啓発／障害者理解のパンフレット／出前講座（７班／記録248）
381 各年代向けの講座をしてくれる。［模造紙への記入］（７班／記録249）
382 個別支援に関わっている以外の教員も事業者や支援してくれるところを知るべき。（４班／記録154）
383 顔の見える関係づくり（１班／記録035）
384 職場の中に共感者をつくる（１班／記録036）
385 顔の見える関係性 通訳的存在（５班／記録170）
386 ゆるい紐帯［模造紙への記入］（５班／記録177）
387 できない × を気軽に言える関係（６班／記録216）
388 やりたい やってみたい を気軽に言える関係（６班／記録217）
389 知り合いだったり、研修を通して顔見知りになることで、連絡がしやすくなる［模造紙への記入］（７班／記録253）
390 （多職種連携）顔の見える関係（７班／記録254）
391 この人だったら大丈夫！［模造紙への記入］（７班／記録255）
392 ○ 顔の見える関係 → 連携 共有へ（９班／記録332）
393 ③ 支援者同士の顔の見える関係 このことはこの人に聞こうかな）（12班／記録434）
394 日ごろからの連携。（こういった場の活用）（８班／記録302）

情報共有の仕組みづくり（19件）

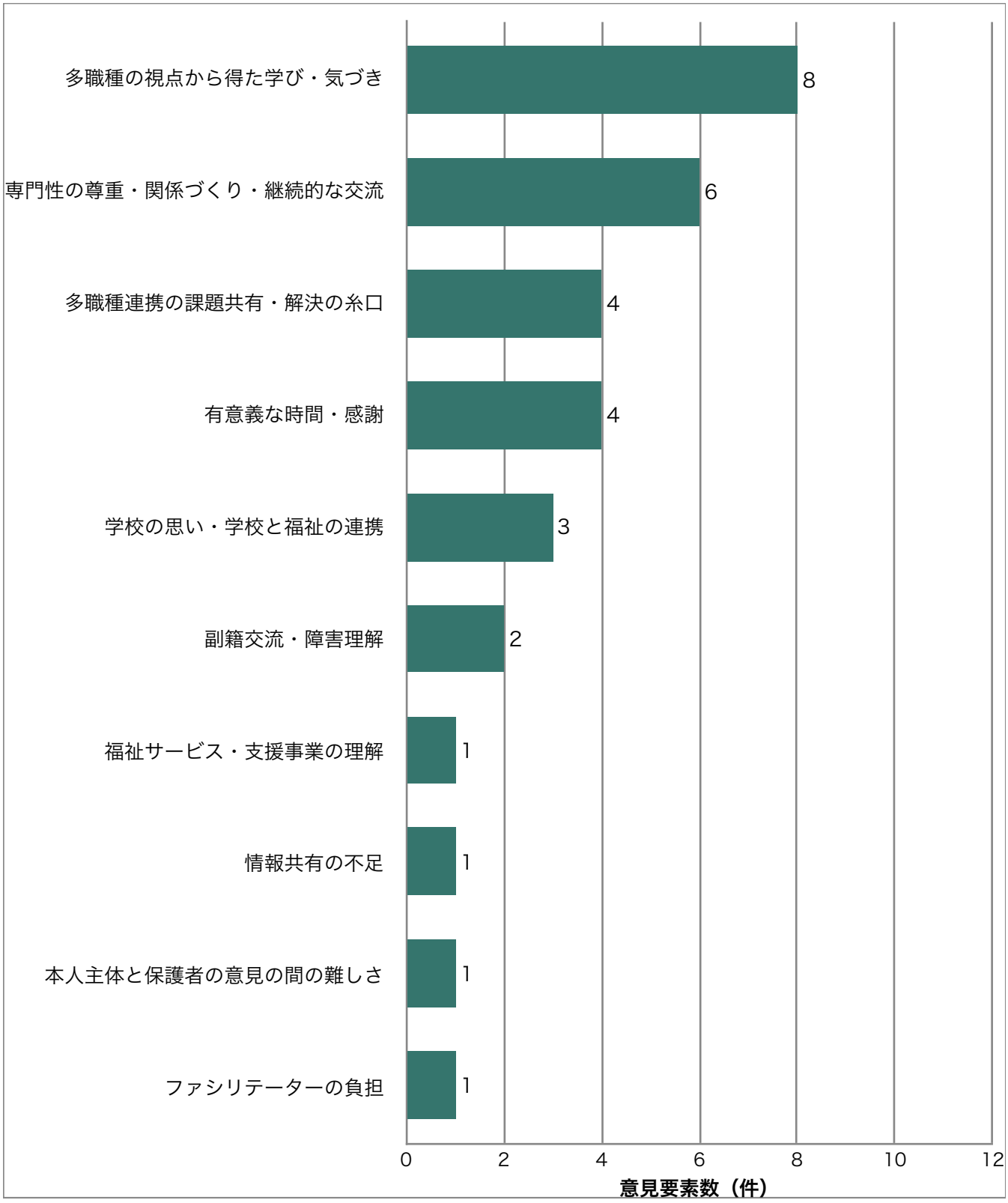
395 情報共有のルール・しくみづくり（１班／記録044）
396 情報共有の大切さ（１班／記録045）
397 細やかな情報共有（１班／記録047）
398 1年に2回（前・後）共有のための面談を行う。（２・３班のいずれか（2or3班.jpeg）／記録083）
399 先生方と密にコミュニケーション（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録116）
400 関わる人が増える分、「報・連・相」が少ないと大人同士のすれ違いが起きてしまう…？［「すれちがい」の追記］（４班／記録153）
401 支援者と生活して 情報共有 訪問相談等もある［要確認］（５班／記録173）
402 あらかじめ、困り感や相談したいことをメールしておき、当日までに情報を整理する。（８班／記録301）
403 ○ 情報共有＝本人の情報を！［「本人」に丸］　・どんな生き方をしてきたか　・「関わる先」が共有していけるものを　・ゆるやかなつながり　・同じことを何度も話す負担（９班／記録333）
404 のりこえ方 話し合いすることが当り前になること。（職場の認識・IT活用）（11班／記録395）
405 情報共有の場 意見交換の場（11班／記録397）
406 グーグル スプレッドシート（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録123）
407 LINE（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録124）
408 ○ 最新情報＝関係機関が増えてきた！　・フローチャート　・対応先の情報　・ネットワークで共有する　・可視化［囲み］　・知らないと使えない ＝ 取り残されてしまう…（９班／記録334）

番号	意見（班名・記録番号）
409	共通理解（１班／記録046）
410	定期的な多職種連携会議を行う。（４班／記録148）
411	○ それぞれウィンーウィンになる情報交換と連携（10班／記録365）
412	日頃からのやりとり［模造紙への記入］（８班／記録300）
413	個人情報？？［模造紙への記入］（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録122）
社会資源への接続（7件）	
414	医師やピアサポーターさんなどより様々な社会資源とつなげていく（５班／記録172）
415	文京区だと「バリアフリーパートナー」？ 他にも知らない制度がある。指導課 ↔ 福祉課［模造紙への記入］（７班／記録258）
416	社会資源を知る［模造紙への記入］（８班／記録305）
417	資源の活用方法を知る（８班／記録306）
418	目の前の子供を誰につなげたら有効なのか？（８班／記録307）
419	相談支援専門員（障害児計画相談支援）の存在を広めていく（11班／記録392）
420	在学中から学校と就労支援との連携強化（［判読不能］）（11班／記録398）
報酬（4件）	
421	関わる人の人数とお給料をふやす。（５班／記録175）
422	お金もちゃんとしっかりつける。［取り消し字あり］（７班／記録257）
423	報酬（８班／記録309）
424	① 福祉サービス 契約前の相談の段階から業務とできる体制（費用・体制）［挿入記入：強度］（12班／記録430）
人権（3件）	
425	障害のある子が出向くだけでなく、互いに行き来ができるような環境があるとよい。［模造紙への記入］（７班／記録261）
426	インクルーシブを実現するには ［判読不能］体験（12班／記録428）
427	インクルーシブ教育には人権意識が大きくかかわる。社会として意識が［塗りつぶし］醸成されることが必要。［取り消し・挿入位置あり］（12班／記録429）
医療（3件）	
428	② 医療からの働きかけ↑「心の相談員」療育や心理分野についても助言してもらう（12班／記録431）
429	小児科 key 歯科・耳鼻科（口コミ、保健室など → 行きやすい病院）（12班／記録432）
430	「医療にかかる」ことへのイメージやハードルを下げる（12班／記録433）
学校の支援体制・連携ルール（2件）	
431	③ 学校は他児の情報も抱えているので（あるいは他児、他保護者からも問い合わせが発生する）難しさも？ また、複数人抱えたら先生も大変？（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録110）
432	③ 放訪ルールは…（２・３班のいずれか（2か3班.jpeg）／記録115）
熱意・周囲を巻き込む力（1件）	
433	力、熱意、まきこんで発言していく力（７班／記録256）
その他（1件）	
434	多職種さい［判読不能・模造紙への記入］（８班／記録303）

事後アンケートまとめ

「詳細について」

事後アンケート　KJ法による分類　合計 31件

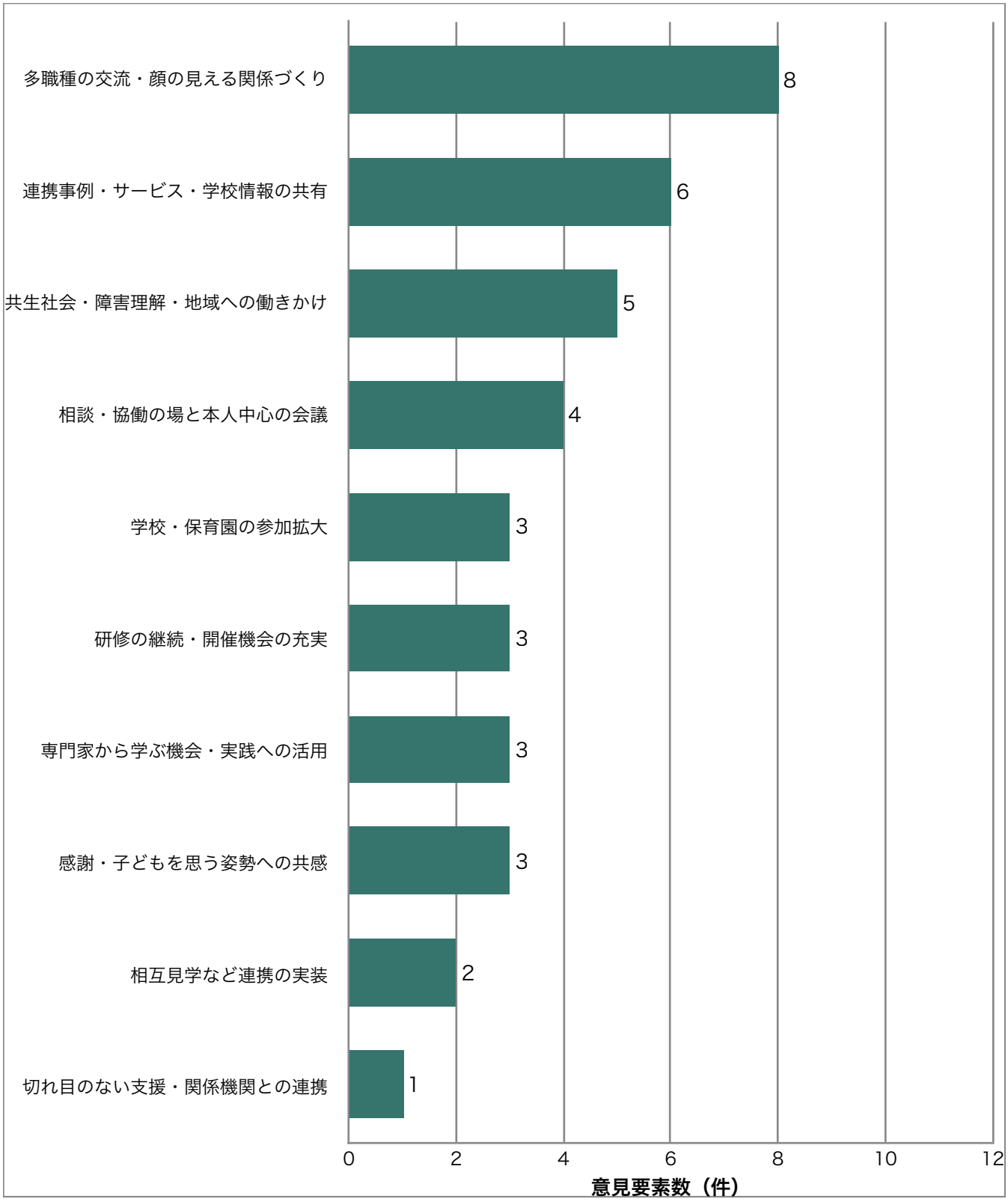


※件数は回答を分解した意見要素の数です。回答者数ではありません。

事後アンケートまとめ

「今後、こども支援専門部会に期待することをご記入ください。」

事後アンケート　KJ法による分類　合計 38件

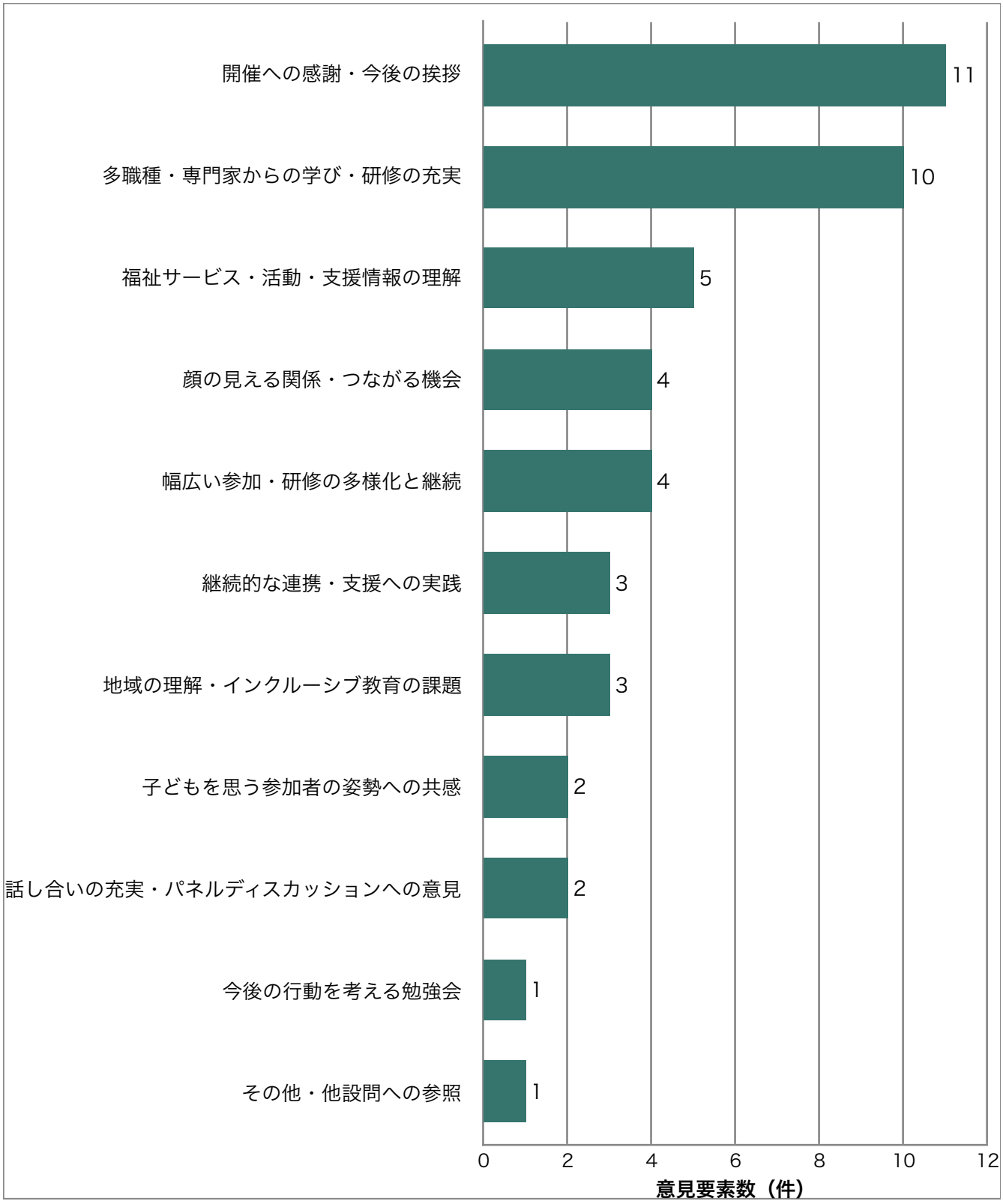


※件数は回答を分解した意見要素の数です。回答者数ではありません。

事後アンケートまとめ

「ご意見・ご感想があれば記入してください。」

事後アンケート　KJ法による分類　合計 46件



※件数は回答を分解した意見要素の数です。回答者数ではありません。

R8　第2回こども支援専門部会（研修会）事後アンケート

【資料第5号】

放課後等デイサービスの紹介については、今後の業務の参考（関連知識の幅が広がったなど）となりましたか。	グループワークについては、今後の業務の参考（関連知識の幅が広がったなど）となりましたか。	（グループワークについての詳細）	時間配分は適切でしたか。	次回を開催した場合、参加したいと思いますか。	今後、こども支援専門部会に期待することをご記入ください。	ご意見・ご感想があれば記入してください。	所属を教えてください。
参考になった	参考になった	学校や保護者への情報共有が不足していることが課題とわかった。	適切だった	また参加したい	こども支援専門部会での取り組みがきっかけとなって、共生社会の実現への理解が進むことを期待している。	つながるきっかけができて、ありがたかった。一部ではあるが、放課後等デイサービスや児童発達支援のようすを知ることができた。	その他
やや参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい	今後もいろんな職種の方とお会いしながら研修に挑みたいです。 可能であれば、連携という点で保育園などの先生にも参加していただけるといいなと思いました。		障害福祉サービス事業所
やや参考になった	参考になった	学校の思いや意見が聞けてよかった。	やや適切だった	また参加したい	福祉サービスをご理解頂き、連携を図るために様々な学校に今回のような研修会にご参加いただけるよう働きかけてほしい。		相談支援専門員
やや参考になった	やや参考になった		適切だった	また参加したい	パネラーとして参加してくださっていた先生方のお話（講義のような）を聞く機会があるといいと感じました。		その他福祉関係者
参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい		とても勉強になりました。 本当にありがとうございました。 放課後等デイサービスの活用方法として、現行の制度の中でもインクルーシブ教育を支えることができる方法があることを学ぶことができ、大変勉強になりました。 また、参加者の皆さんがそれぞれの立場から子どもたちのことを真剣に考えながら参加されていることが伝わり、とても有意義な時間でした。 インクルーシブ教育においては、目の前の子どもたちへの支援だけでなく、保護者や地域社会の理解をどのように広げていくかも重要な課題だと感じています。そのため、それぞれの立場から意見を出し合い、今後どのような行動につなげていくべきかを参加者同士で考え、検討できるような勉強会も開催されると、とても有意義だと思いました。	その他
参考になった	参考になった	立場の違う参加者で参考になる話があって、勉強になりました、	適切だった	また参加したい	今回学校関係者(区内小学校)の参加が少ないと思いました。 教育現場の方々ともっと親しい関係が出来たらと思います。 次回もぜひ教育・福祉・行政の方々との参加できるテーマを希望します。	参加するたびに勉強になります。 顔が見える関係は必要と思っています。 今後ともどうぞよろしくお願い致します。 企画スタッフの皆さま、ありがとうございました。お疲れ様でした。	障害福祉サービス事業所

参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい		今回だけの繋がりにならないように、実際に繋がって継続して連携を行えるようにしていきたいと感じている。実践的で継続的に連携して支援をできるように、今回の研修を活かしていきたい	その他
参考になった	やや参考になった	目的に対してファシリテーターの負担感が強そうでした。	やや適切だった	また参加したい	同業種以外の方にも知ってもらったり、意見もらったりは大切だとかんじました。	今後も間口の広い研修であってほしいと思います。高齢部門も子どもや青年期のことを知る意味はあると思います	その他
参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい	昨日は貴重な機会を与えてくださいまして、誠にありがとうございました。 今回はグループワークでの交流はなかったのですが、高山先生や内海先生、荻野先生とお話しする中で、日本と海外の特別支援教育の違いや医療と学校の繋がりの構築方法など、大変参考になるお話をたくさん伺うことができました。 今後の学校経営にも役立てたいと思います。 これから御部会に期待することとして、各職種同士の、より一歩進んだ交流のご提案があるといいなぁと思います。理由は、3回目を迎えた今夏、皆さんの他職種連携の理解はもちろん、必要性も十分にわかっていただけているものと思います。これまでのことは今後も続けながら、例えば、冬あたりに、可能なところで双方の場所を見学してみる…など、連携の実装をやってみてもいいかもしれません。（個人の意見です。）	Q5にまとめて書いてしまいました。	校長・副校長
やや参考になった	やや参考になった		やや適切だった	また参加したい	今回、放課後等デイサービスの実践、報告が知ることができたことは大きな前進だった。どのようなことがされているのかお互いに知ることは、大前提として必要なことだったように思う。 デイサービスだけでなく、関係する様々な機関が連絡を取り合った事例や、「壁の登り方」についての共有などができれば、よりよいと思う。 ケース会議など、より円滑になるきっかけになってほしい。	ありがとうございました。	特別支援学級教諭
参考になった	参考になった	区の職員の方、特別支援学校の先生、放課後等ディの方、スクールカウンセラーの方がメンバーで色々な視点で話ができた。子ども主体と言うが実際は保護者の意見に左右されるのでアプローチが難しいと感じた。	やや適切だった	また参加したい	支援が必要な子どもの児童発達支援から放課後等ディサービスに向けての連続した支援のあり方と育成室やアクティとの連携をお願いします。研修を継続して続けて欲しいです。	色々な職種の方が参加した研修会は有意義でした。大学の先生や医師、校長の意見を聞けて良かったです。	相談支援専門員
参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい			相談支援専門員
参考になった	参考になった		やや適切だった	また参加したい	多職種連携に関して、今回のように顔の見える関係作りを作って頂きたい。		相談支援専門員
参考になった	参考になった		やや適切だった	どちらともいえない			特別支援学級教諭

参考になった	参考になった	デイサービスの方だけでなく、他の職種の方からも話が聞けたのがよかった。問題を広くとらえることができたし、異なる視点を示されて新たな気づきがあった。	あまり適切ではなかった	どちらともいえない	現場で困っている人たちの駆け込み寺的な役割？課題を整理し、前進するために必要な制度やシステム実現のために、異職種が協働する場を設定していってほしい。	今回のような形態（グループディスカッション）だけでなく、様々な形の研修会が継続的に設定されると有難いです。文京区内の、医療的ケアの必要な子たちのためのデイサービスについても知りたいです。	特別支援学校教諭
参考になった	参考になった	4月から文京区に異動してきたので、文京区にある放課後デイや支援事業のことがわかりました。	やや適切だった	また参加したい		今日は、ありがとうございました。とても有意義な研修になりました。 そこにいた全員が、子供のために動いてることが素敵だと思いました。	教諭
参考になった	参考になった	大変有意義な時間でした。 区役所の予防対策課の方が、副籍交流について真剣に考えてくださっていることを知り、大変驚きました。副籍交流が進まない理由や障害理解が進まない理由について、異なる立場や分野の方々と率直に意見交換ができたことは、とても貴重な経験でした。 分野は違っても、皆さんがそれぞれの立場で子どもたちのことを真剣に考え、日々の仕事に取り組んでいることを知り、大変勇気づけられました。 学校教育の中だけでは支援の手立てが見つからず行き詰まることでも、今日ご一緒した皆さんに相談すれば、新たな視点や解決の糸口が見つかるのではないかと感じました。	適切だった	また参加したい	この研修は、ぜひ来年度以降も継続して開催していただきたく思います。 恥ずかしながら、「保育所等訪問支援」や「家族支援加算を利用した学校支援」といった福祉サービスについて、今回初めて知りました。学齢期の児童が利用できる福祉サービスの一覧や、それぞれのサービスの内容、学校との連携方法について学ぶことができる研修があれば、大変ありがたいです。 また、当班のグループ協議では、身近に障害のある方と接する機会が少ないことが障害理解の進みにくさにつながっていることや、幼児期から障害のある方と触れ合う経験を持つことで、理解が深まるのではないかという意見が出ました。 今回、予防対策課の方から、障害理解に関する出前授業を実施されていることを伺い、大変興味を持ちました。小学校の学校公開日などを活用して出前授業を実施していただいたり、副籍交流の児童と一緒に活動する機会を設けたりすることで、子どもたちだけでなく保護者や地域の障害理解にもつながるのではないかと感じています。 このような取り組みを区全体で推進していただくことができないか、ぜひご検討いただければと思います。	大変勉強になり、参加させていただいて本当に良かったと思っております。 貴重な学びの機会を設けていただき、ありがとうございました。今回学ばせていただいたことを、今後の子どもたちへの支援に生かしていきたいと思います。 来年度もぜひ参加させていただきたく存じます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。	その他
参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい			その他福祉関係者
参考になった	参考になった	様々な視点からの意見を聞くことができ、1人で考えるよりも考えが深まりました！	やや適切だった	また参加したい	様々な関係機関が集まれる機会となること、また今回のように、教育・福祉・医療のつながりを持つことができる機会となることを期待しています。	初めて参加させて頂きましたが、講義形式のお話、グループワーク、有識者の方からのフィードバック等、とても充実した時間を過ごすことができました。 インクルーシブ教育の良さと現状の日本の教育現場で行うことの難しさ、また一人一人に合った教育とのバランスがとても難しいと感じました。日本のインクルーシブ教育もまだ未完成であり、支援者はこれからも引き続きその子にとって何が良いのか考えていく必要がある課題なのだと感じました。 今回は、このような会を企画してくださり、ありがとうございました。	教育センター相談員
参考になった	参考になった	とても有意義な時間になりました。	適切ではなかった	また参加したい		座談会や事業者間での話す時間を増やしていただきたいです。 パネルディスカッションは不必要です。その時間をディスカッションに回してください。	障害福祉サービス事業所

参考になった	参考になった	日ごろの業務のフィールドが子どもの分野ではないので、今回のグループワークでお会いした皆さんからお話を伺うこと自体新鮮でした。 しかし、フィールドは異なっていても分野を超えた多職種連携については、同じような課題感があり、共有できてよかったです。 パネルディスカッションの際に先生が方からもお話しがありましたが、子どもの頃からの積み重ねがあってこそ、現在のご本人やご本人の意思があるということも踏まえ、子どもの分野の方とも日常的に係りが持てるといいな、と改めて思いました。 貴重な機会をありがとうございました。	適切だった	また参加したい			その他福祉関係者
参考になった	やや参考になった	他職種の方々の話が聞けてとても参考になりました。	適切だった	また参加したい			障害福祉サービス事業所
参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい		貴重な場を作ってくださり、ありがとうございました。	障害福祉サービス事業所
参考になった	参考になった	多職種での話し合いが互いをリスペクトしての話し合いになっていたので、気持ちよく連携できていた。このような時間を作っていただけてとてもよい時間が過ごせた。	適切だった	また参加したい	大学の先生がおっしゃっていたように、当然のように医療、福祉、教育が場を同じくして子ども中心の会議を成立させていく、拠点としての機能を発揮していただけるとよいかと思います。	とても勉強になりました。	教諭
参考になった	やや参考になった	多職種連携の難しさを専門職で話し合える機会が持ててとても勉強になりました。	適切だった	また参加したい	たくさん会をもうけてほしいです。	勉強になり、良い励みになりました。ありがとうございました。	スクールソーシャルワーカー
参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい		普段は病院勤務で学校や児童福祉施設の先生方とお会いする機会がないので、グループワークの顔の見える関係の中でお人柄や考え方、職場の様子を聞けたことが貴重でした。事業所紹介、グループワーク、有識者の先生方からのお話と色々な視点から学ぶことができました。今日の経験を職場に持ち帰り連携を意識します。ありがとうございました。	その他医療関係者
参考になった	参考になった	地域の中で交流を深めることは大切なことだと改めて実感しました。それぞれが連携に感じることを直接聞くことできる貴重な経験でした。	適切だった	また参加したい			教諭

参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい		本日は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。 色々な方と顔の見える関係の第一歩が築けて、大変ありがたかったです。 放デイの動画など、なかなか実際の活動を見ることができないので、とてもありがたかったです。また、放課後等デイサービス一覧も大変助かります。 また機会ありましたら、どうぞよろしくお願いいたします。	スクールカウンセラー
参考になった	参考になった	学校の先生から、福祉事業所からのアクションがあると学校は動きやすいと聞けたのが良かった。	やや適切だった	また参加したい	実際に連携会議をしている例なども紹介してほしい。また各学校の特色などもリスト化して今回の通所サービス一覧のように教えてほしい。		相談支援専門員
参考になった	参考になった	率直な意見交換ができ、大いに刺激を受けた。特に、壁があるから無くす、という短絡的な思考ではなく、互いの専門性の理解という視点が深められたことが良かった。	適切だった	また参加したい			障害福祉サービス事業所
参考になった	参考になった		やや適切だった	また参加したい			その他福祉関係者
参考になった	参考になった	小学校の先生がご参加なさってたのが印象的で、嬉しかったです。	適切だった	また参加したい			教育センター相談員
やや参考になった	参考になった		やや適切だった	また参加したい			相談支援専門員
やや参考になった	参考になった		適切だった	また参加したい		パネルディスカッションは必要なのでしょうか？ グループワークの間、見て回っていないですよね？	その他福祉関係者

令和8年度　文京区障害者地域自立支援協議会こども支援専門部会員名簿

No.	氏名	所属等	区分
1	髙山　直樹	東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授	学識経験者
2	荻野　美佐子	上智大学総合人間科学部心理学科名誉教授	学識経験者
3	内海　裕美	吉村小児科院長	医師
4	向井　崇	放課後等デイサービスカリタス翼 管理者兼児童発達支援管理責任者	事業所等職員
5	勝間田　万喜	富坂子どもの家 管理者兼児童発達支援管理責任者	事業所等職員
6	塚本　了介	ハッピーテラス千駄木第二教室 児童発達支援管理責任者	事業所等職員
7	髙山　陽介	わでかくらぶ代表	事業所等職員
8	内田　千皓	相談支援事業所やえ相談支援専門員	事業所等職員
9	高谷　通代	障害者基幹相談支援センター 副所長	事業所等職員（区委託）
10	柿沼　真理子	都立王子特別支援学校 特別支援教育コーディネーター	都教員
11	田邉 裕子	しおみ保育園長	区職員
12	川崎　洋子	こども家庭支援センター児童相談係長	区職員
13	加藤　たか子	保健サービスセンター保健指導係長	区職員
14	林 修也	教育指導課統括指導主事	都教員（区費負担指導主事）
15	井上　アヤ乃	教育指導課特別支援教育担当主査	区職員
16	小野寺　素子	教育センター総合相談係長	区職員
17	渋谷 尚希	予防対策課　精神保健担当係長	区職員

事務局	文京区障害福祉課障害福祉係